

光星 5回一気に逆転

技巧派投手に苦戦



【八戸西一八学光星】5回八学光星1死満塁、浦野詠仁が右翼線へ2点二塁打を放ち5-5とする=長根

○：八学光星は打線が技巧派投手に苦しみ、先発投手も崩れて一時は3点のビハインドを背負ったが、五回に試合を引っ張り返して辛くも逃げ切った。五回の好機で同点打となる二塁打を放った浦野詠仁は「打線で左打者は自分だけ。何とか打ちたかった。甘い直球を打つことができ

た」と安堵の表情を浮かべた。投げたのは、三回の満塁の大ピンチで継投した2年洗平歩人が振り逃げこそ許したものの、その後は最速141キロの直球を軸に6回10三振、無失点と試合を立て直した。洗平は「スライダーでカウントを整え、直球やフオークで勝負できた」と手応えを

口にした。昨秋の地区予選に続いて苦戦を強いられた格好の八学光星。仲井宗基監督は洗平の投球には及第点を与えつつも、「軟投派を打つ練習もしてきたが、打線はまだ力がないということだ」と結果を冷静に受け止め

青森県
春季高校野球

第3日

ベスト4 出そろう

東 義 × 八学光星
工大二 × 工大一

春季青森県高校野球選手権第3日は18日、八戸市長根、東岡球場で日々決勝が行われた。工大一は五所川原を七回コールドで下し、初の4強入り。八学光星は序盤の劣勢をはね返して八戸西に逆転勝ちした。工大一は5本塁打を含む20安打が飛び交った弘学聖徳との打撃戦を制した。東義は青森商との投手戦を制した。第4日の20日は長根球場で進決勝の工大二(工大一)10・00、東義、八学光星(12・30)が行われる。決勝は23日。進決勝以降は無観客となる。

(取材班)

八戸西 104000000 | 5
八学光星 11004000X | 6

(西) 中田、平内、椛木、廣田—藤本
(光) 國澤、洗平、森—伊藤
▷二塁打 久守2、浦野(光) ▷暴投 國澤、洗平(光) ▷捕逸 藤本(西) ▷ボーク 洗平(光)

▷試合時間 2時間4分
(球審—後藤、塁審—谷川、梅田、木明)

【評】八学光星は3点を追う五回1死一、二塁から久守の左翼線適時二塁打、浦野の右翼線適時二塁打、松本の中犠飛で4点を奪い逆転した。八戸西は三回に連打と暴投、桐山の適時打などで攻め立てリードしたが、投手陣が中盤につかまった。